

—
(土)

救いにあずかる低さ

ルカによる福音書一四章一〜14節

誰でも、高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。(11)

イエスはここで、客に招かれた人々が上座を好んでいる姿勢を問題にされました。客に招かれても、すぐに上座に座るものではないということです。後から高くしてもらうために最初は低くしておくという処世術を教えているではありません。真実に低くなることを求めておられるのです。私たちの中には本来、高くされる理由など見つからないはずだからです。イエスがそのような低さを私たちに求められるのは、キリストによる救いは自分の中には救いに値する何かを見いだすことの出来ない人々にこそもたらされるからです。私たちが救いにあずかったのは、ただ神の憐れみによるとい以外に理由を見つけられないのではないのでしょうか。私たちが自らの低さを心から認めることが出来るようにと主イエスは願っておられます。そのとき、救いの喜びが私たちに溢れ出ることでしよう。